

令和3年度第1回中央区在宅療養支援協議会 議事録

- 日時 令和4年3月10日(木) 午後6時30分～
- 場所 中央区役所8階 大会議室
- 出席者 【委員】13名
山田 雅子(聖路加国際大学教授)
井関 栄三(日本橋医師会理事)
寺田 香織(京橋歯科医師会副会長)
関谷 治久(お江戸日本橋歯科医師会地域医療担当理事)
宮崎 夏樹(京橋薬剤師会副会長)
宮崎 賢澄(中央区医師会)
寒河江 千智(医師会立中央区訪問看護ステーション管理者)
春日井 祥子(ケアプランエンゼル管理者)
富岡 真澄(アズミメディケアセンター東京管理者)
大内 久美子(京橋おとしより相談センター)
田中 智彦(福祉保健部長)
吉田 和子(高齢者施策推進室長)
渡瀬 博俊(保健所長)
- 《欠席者》 竹見 敏彦(中央区医師会理事)
海老原 公代(日本橋薬剤師会理事)
小野 絵理子(中央区医師会訪問看護ステーションあかし所長)
佐々木 佳子(聖路加国際病院訪問看護ステーション所長)
- 【事務局】 福祉保健部管理課長、介護保険課長

●議事次第

- 1 開会
- 2 中央区在宅療養支援協議会委員の委嘱
- 3 高齢者施策推進室長あいさつ
- 4 委員紹介
- 5 会長選出
- 6 会長あいさつ
- 7 会長職務代理(副会長)の指名
- 8 議題
 - (1) 令和3年度事業実績報告
 - (2) 令和4年度在宅医療・介護連携推進事業について
 - (3) 介護者の社会的孤立について～ふじみ野市の事件を受けて～
- 9 閉会

議事の経過

第7期構成員の初回会議ため、事務局が司会となり開会した。

1 中央区在宅療養支援協議会委員の委嘱

第7期中央区在宅療養支援協議会委員（任期：令和3年11月25日～令和5年11月24日）へ委嘱状が伝達された。

2 委員の互選による会長選出

委員から山田氏の推薦意見があり、全会一致で会長に選出された。

3 会長職務代理者（副会長）の指名

山田会長の指名により、竹見氏及び井関氏が会長職務代理者（副会長）に選出された。

4 議題（1）令和3年度事業実績報告

- ・資料1-1 「令和3年度 緊急一時入院病床利用実績」
- ・資料1-2 「令和3年度 在宅療養支援訪問看護の利用実績」
- ・資料1-3 「令和3年度 医療ニーズの高い方向け緊急ショートステイの利用実績」
- ・資料1-4 「令和3年度 おとしより相談センターの在宅療養相談窓口の実績」
- ・資料1-5 「認知症初期集中支援チーム事業実施状況」
- ・資料1-6 「認知症サポーター養成講座事業実施状況」
- ・資料1-7 『『気軽に相談できる場（認知症カフェ等）』の実施状況』
- ・資料2-1 「在宅療養支援研修実績一覧」
- ・資料2-2 「令和3年度 在宅療養支援研修開催のご案内、アンケートまとめ」
 - ①歯科と薬の講演会
 - ②在宅療養支援シンポジウム
 - ③在宅療養支援研修（多職種連携グループワーク）

事務局から令和3年度事業実績について報告を行った。

（2）令和4年度在宅医療・介護連携推進事業について

- ・資料3-1 「令和4年度 在宅医療・介護連携推進事業」
 - 別紙 医療・介護関係者の情報共有の支援について
- ・資料3-2 「令和4年度 在宅療養支援研修 実施案」

事務局から令和4年度の事業概要について説明を行った。

（医療ニーズの高い方向け緊急ショートステイについて）

・緊急ショートステイの医療ニーズについてもう少し明確にして欲しい。明確になった方が利用者も増えると思う。

➡対象については明確に示すことが難しく、個別に対応していきたい。

（ショートステイや特養の区内の医療体制の一覧について）

・ショートステイや特養の施設でどんな医療行為ができるか一覧を作成することは可能か。

・施設側からするといろいろな事情があって簡単にリスト化はできないのではないか。

➡特養の入所調整会議を年2回行っているが、医療ニーズの高い方について、施設に一人ずつ諮っている状況なので一覧で示すのは難しい。

（3）介護者の社会的孤立について～ふじみ野市の事件を受けて～

埼玉県ふじみ野市で訪問診療を行っていた医師が亡くなるという痛ましい事件が起きた。この事件に関連して中央区での事情について意見交換をした。

- ・訪問歯科診療を行っている歯科医師からは、認知症で口腔がんの母を一人で介護している娘がいる家庭への訪問歯科診療について、口腔ケアだけでなく娘のメンタルケアもしていたとの報告があった。
- ・訪問看護師からは、訪問看護は患者に一番近い存在、寄り添うところは私たちの役割、精神的なケアを心掛けている等の報告があった。
- ・医師からは外来での対応について、外来で認知症の方はいつも家族が来るので、本人と同時に家族の訴えも聞き、それに対する対応などの話をする、一定の距離を置いて対応していくことは必要であろうとの報告があった。
- ・地域ケア会議等にて対応している区の現状について、もっと地域ケア会議を開催しても良いのではとのケアマネジャーの意見に、ケアマネジャーとおとしより相談センターの関係を生かして解決につなげていく区の方向性が確認できた。
- ・SNSを利用した窓口はあるかについて、区は基本対面で行っていることが確認できた。
- ・おとしより相談センターまでたどり着けない夫婦両方認知症の二人家族への介入について、区は様々な方法を取って対応していくことが確認できた。
- ・新型コロナワクチン接種支援薬局のワクチン接種支援の状況について、薬局は窓口で薬を渡しているときに相談をうけている状況が確認できた。

5 閉会

次回、令和4年度第1回の協議会は令和4年5月頃を予定。